

## 第2期横浜町人口ビジョン及び横浜町総合戦略（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

実施期間：令和3年2月8日（月）～令和3年3月1日（月）

受付人数：2名 意見件数：7件

意見番号	該当箇所	意見・提案の概要	意見等に対する本町の考え方
1	第2部 27 ページ 基本目標1 施策2 農業の振興	農業者の後継者不足が目立つが、農業法人の促進や農業をしたい人の移住を支援することで雇用の増大、人口の増大につなげることができるのではないかと。	基本目標1 施策2の主要事業において記述しているように、農業経営力強化のための営農法人化の促進や新規就農者確保のための支援は町の重要課題であると認識しており、今後も力を入れて取り組んでいきます。
2	第2部 29 ページ 基本目標1 施策4 水産業の振興	横浜ブランドの「横浜なまこ」の養殖研究のための研究所を作り、なまこを年間通して販売できるように開発するのはどうか。研究所での雇用創出、水揚げ量の向上を見込めると思う。	具体的に研究所の建設となると本戦略の事業としては実施が困難なものであると考えられますが、基本目標1 施策4の主要事業において記述しているように、ホタテやなまこの維持・増産については町でも重大な課題であると認識しており、今後も力を入れて取り組んでいきます。 なお、具体的なご意見については、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。
3	第2部 31 ページ 基本目標1 施策6 働く場の拡充と雇用対策	IT系企業はテレワークで仕事をできる場合が多く、都会に居住する必要性は低下している。横浜町で受け入れられるようなIT系企業を優先的に誘致してはどうか。 また、横浜町内に貸事務所がなく、社屋を建てる必要があるが、その負担を軽減するため、廃校となった学校施設等をリフォームし、貸し出してはどうか。	テレワーク環境の整備は国でも現在、推進している課題となっており、第2期横浜町総合戦略でも新規の主要事業として組み込んでおります。また、空き家や空き施設の活用も町の重要課題であると認識しておりますので、今後も力を入れて取り組んでいきます。 なお、具体的なご意見については、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
4	第2部 38 ページ 基本目標2 施策6 地域の資源を生かした観光の推進	2009年に放映されたアニメ「CLANNAD AFTER STORY」の一場面に横浜町が舞台として描かれています。舞台となった駅を聖地として利用するため、カフェの開設等してはどうか。	基本目標2 施策6の主要事業において町内の様々な資源を生かした観光資源の開発や有効なPRを組み込んでおりますが、アニメの舞台の聖地としての利用は審議の際に議題にあがることはありませんでした。そういった視点での町のPRも今後、検討に入れていきます。 なお、具体的なご意見については、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
5	第2部 41 ページ 基本目標3 施策1 安心して子どもを産み、育てられる体制の整備	「知り合いに会いたくないから参加しない」という意見をよく聞くので、男女を町内外に分けて婚活イベントをやってみてはどうか。また、他の事業者との共同での実施や結婚相談所でのマッチング形式を導入してはどうか。	基本目標3 施策1の主要事業において婚活イベントの開催について取り組んでいくこととしております。また、町では現在、上十三定住自立圏の協定を締結しており、上十三圏域内において様々な事業を連携して取り組んでおります。その中の一つとして、共同での婚活イベントを実施することとしておりますので、そういった町外の婚活イベントの周知にも力をいれていきたいと考えております。 なお、具体的なご意見については、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
6	第2部 47 ページ 基本目標4 施策1 地域コミュニティ活動の充実	温泉を活用した交流活動の推進とあるが、よこはま温泉の集会室の舞台を利用してカラオケやグループ活動の発表等のみんなで楽しみながら学ぶ日を作っていたらよいと思う。大きな講演会を町で開催したりするのは大変ありがたいことではあるが、それに加えて小さな学びの場を積み重ねていくことも大切です。日常的に学ぶ習慣は認知症の予防にも効果的であると思う。	基本目標4 施策1において記述しているように、地域コミュニティは町民の皆さんが中心となって作っていくこととなりますが、町としては活動のしやすい拠点づくりの支援や活動費の支援を継続して実施していくこととしております。町では各種団体が相談しやすい行政を目指しておりますので、小さな学びの場づくり等の様々な取組についてご相談いただければと考えております。

7	第2部 60ページ 基本目標4 施策14 地球環境問題への対応及び廃棄物処理対策の推進	現在でもごみを分別して回収していますが、牛乳パックや卵のパック等、他の自治体では分別して回収している資源ごみを横浜町も細分化して回収したほうがよいのではないかと。ではないか。	基本目標4 施策14 の主要事業において記述しているように、ごみの減量と分別の徹底は町での主要課題の一つと認識しております。また、毎年度、ごみ分別の検討や周知を事業として行っております。 なお、具体的なお意見については、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
---	---	---	--